

# 災害につよい福祉のまちづくりを

## いのちと安全を守る 防災対策の総点検を

東日本大震災、大量の放射能を放出している福島原発の重大事故をうけ、日本共産党は、被災地への救援・復興に全力をあげるとともに、横須賀の防災対策の総点検をすすめます。

## 津波対策の強化など、横須賀市 地域防災計画の抜本的見直し

地震・津波は防げませんが、被害を最小限にとどめることは可能です。その大もとになるのが地域防災計画。ところが、横須賀の計画には津波の被害想定がないなど抜本的な見直しと強化が必要です。

- 国・県に働きかけ、津波の被害想定をおこなない、それに基づく津波対策の強化、避難路確保など、防災計画を見直します。
- 消防職員の増員など整備基準以下の横須賀の消防力を抜本的に強化します。整備基準の引き上げも必要です。
- 防災拠点・避難場所の見直し、防災備蓄・医療体制・上下水道などの防災対策を総点検と強化をはかります。
- 住宅耐震化の助成強化、公共的施設の耐震化も促進します。

## 原子力空母の安全性は大丈夫か？ 「軍事機密」より「いのち」優先に

- 福島原発事故を受け、地震・津波対策が大丈夫なのか、徹底点検を求めます。
- 原子炉の安全について情報公開を強く求めます。
- モニタリング体制の抜本的強化を求めます。
- メンテナンスの実施内容を明らかにし、放射能を取り扱う約束違反の修理は中止を求めます。
- 万一に備えた防災訓練と万全な安全対策強化を求めます。

### 共産党市議団が 市長に緊急申入れ

5日、共産党市議団は、市長に対し、地震・津波、原発事故を受け、原子力空母の安全性は大丈夫なのか、米軍にも問い合わせるなどして、市長自ら市民に情報発信することなどを申し入れました。

### 横須賀市の消防力の現状

2011年4月1日現在

	整備基準	現状	充足率
消防士	607人	441人	72.7%
消防ポンプ車	19台	17台	89.5%
救急車要員	108人	102人	94.4%

**日本共産党**

## 福祉充実のまちは、 災害にも強いまち

- 障がい者や一人暮らし高齢者など、災害時要援護者対策の強化は、福祉のネットワークづくりが大切です。
- それは、地域コミュニティをしっかりとつくることでもあり、災害時の支え合いと命を守る大きな力となっています。



## 安全優先の原子力行政への転換 ● 原発増設計画はただちに中止を

- 原発推進部門から独立した強い権限をもつ規制機関の設立。
- 厳しい安全基準を新しくつくって原発の総点検をおこなう。

## 原発依存から自然エネルギー中心へ 浪費社会、生活スタイルを変える工夫も

- 安全神話から抜け出すとともに、原発依存を止め、太陽光、風力、バイオマスなどの自然エネルギー活用で、エネルギーの地産地消をはかる。
- 浪費社会のあり方、長時間・夜間労働などの見直しで低エネルギー社会へ。生活スタイルを変える工夫も呼びかける。

住民の願いをしっかりと届ける日本共産党にご支持を

**よこすか** 市民新聞

2011年4月 No.171

発行：日本共産党三浦半島地区委員会  
住所：横須賀市公郷町2-21-1 電話：851-1123 FAX:852-2398  
市議団HP <http://www.jcp-yokosuka.jp/>

ご意見、ご要望を  
お寄せ下さい。

# くらしと安全を守る市議会に

日本共産党市議団は、みなさんと力を  
合わせ、願い実現に全力をあげます



- 緊急経済対策として、住宅リフォーム助成の実現を
- 市民病院の産科・診療科を回復し、地域医療の拠点にふさわしい充実を
- 特養老人ホームの増設
- 小児医療費無料化を小学校卒業まで
- 家賃助成増額など、学童保育支援拡充
- 少人数学級、中学校給食の推進
- 重症心身障がい児者入所施設実現を

## 雇用に役立ってるの？ 大企業への奨励金

企業誘致策として、奨励金の交付と税の減免で2010年までの8年間で22億4千万円のサービス。しかも、奨励金を受けた企業の従業員数は、進出時より減っています。税金の使い方の優先順位を福祉優先に切り換えるべきです。

**企業奨励金（18社）**  
15億8千万円  
**固定資産税の減免額**  
6億6千万円  
**従業員減少** 237人

この4年間、日本共産党市議団は「市民こそ主人公」をつらぬき、がんばってきました

日本共産党の3議席確保を

### 地域経済

#### 住宅リフォーム助成制度提案 市発注の仕事は地元業者優先に

地域振興策として住宅リフォーム助成を提案しました。耐震化や介護保険の住宅改修などと併用すれば仕事が増え、地域でお金が回ります。地元業者は地域経済の牽引力、災害復旧には真っ先にとんでくる頼りになる存在です。

日本共産党市議団は、吉田市政に対し市民の願いに反するものには厳しく批判するとともに、地域活性化や福祉・くらしの充実などでは積極的な提案をするなど、大きな役割をはたしてきました。

### 市民病院

#### 大幅縮小を招いた民営化に反対 診療体制の回復を求める署名運動に協力

「民営化すれば医師確保ができる」と言って条例改正が提案されましたが、共産党は市民病院の公的役割が後退すると主張し反対しました。当時市議だった吉田市長は賛成、民営化への移行を9ヶ月後に控えた大事な時に、市長になりました。結局、医師確保ができず、産科休止など大幅縮小となりました。



### 子育て・福祉

#### 学童保育の助成拡充 市役所ロビーのマリンショップ開設

市の施設などに常設の障がい者作業所製品の販売所の設置を提案。本庁舎のロビーにマリンショップとして開設されました。

### 基地問題

#### 25年間つづいた水道料金の 米軍への割引サービスに終止符

1985年9月から25年間つづいた米軍への年間約1億円のサービス。これを止めるよう粘り強く主張し続けてきたのは、日本共産党議員団だけです。昨年9月末、水道局の努力もあってようやく終止符が打たれました。

あなたの願いを代弁しているのはどの議員？ (表中の数字は採決時の会派の議席数)	新国会	公明党	市民連合	研究よこすか	自由民主党	横濱	ニユーイング	日本共産党	無党派
原子力空母の配備及び安全性を問う住民投票条例制定 08.5.16	10	7	7	8	2	3	6	賛成 5人 反対 1人 退席 1人	賛成 4人 反対 2人
市民病院を民営化する条例改正 09.3.3	10	7	7	8	5	3	3	賛成 5人 賛成 2人 欠席	賛成 1人 反対 2人